

# 海田東小学校建替基本計画 概要版

海田東小学校校舎建替基本計画は、海田東小学校校舎建替基本構想に掲げる基本理念や整備コンセプトを基に整理した整備方針を具体化するものであり、新校舎の規模、配置・ゾーニング計画、概算事業費、事業スケジュール等の考え方を定め、今後の設計を進める上での方針をまとめるものである。

## 基本構想概略

### 町立学校の校舎建替の基本理念

| つくる                             | つづく                        | つながる                      |
|---------------------------------|----------------------------|---------------------------|
| 子供みんなの居場所を<br>つくる<br>(明日また行きたい) | 学校の伝統や歴史が<br>つづく<br>(継承する) | 地域の未来に<br>つながる<br>(誇りを育む) |

### 整備コンセプト

#### 海田東小学校の強み・特長

学校規模を生かした活力ある教育活動・  
様々な文化に自ずと触れ合える環境

#### 海田東地区の将来像

豊かな自然とにぎわいが調和した新たな  
拠点創出に向けたまちづくり

整備方針

整備方針を具現化

## 基本計画

- ✓ 新校舎の規模
- ✓ 配置計画
- ✓ ゾーニング計画
- ✓ 概算事業費
- ✓ 事業スケジュール

など、  
新校舎の設計を進める  
ための方針を整理

## 1 設計方針（建替対象施設等）

### 【教育活動の更なる充実、敷地の有効利用】

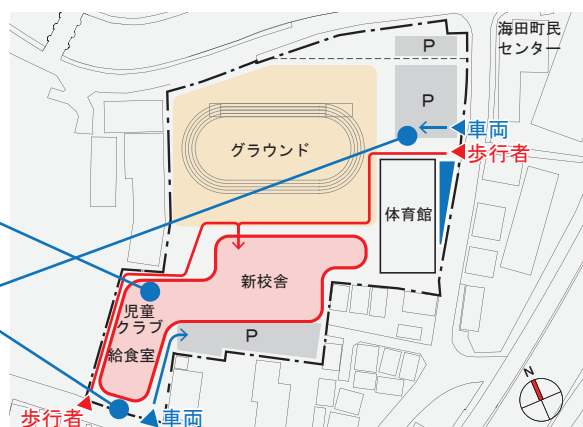
- 不整形な形状の敷地南側に新校舎を配置し、敷地北側にグラウンドを配置することで、視認性の高い整形なグラウンドを整備する。
- 敷地南側に民家が近接しているため、一定程度の距離を空けることや視線・騒音等の対策を行うなど近隣住宅へ配慮した計画とする。
- 給食室は町内他校への給食提供を見据えて、南側道路に面して設け、配送車両の動線や安全性に配慮する。



現校舎及び新校舎の配置イメージ

### 【児童の安全確保、利便性向上】

- 児童の負担軽減を図る観点から、工事期間を短縮し、可能な限り早期に供用開始できる計画とする。
- 近隣の町民センター内の児童クラブを、新校舎に移転することで、放課後の児童の安全性を確保する。
- 歩車分離を明確にすることや、見通しの良いグラウンドの確保など、常に安全確保を目指した計画とする。



校舎建替後の敷地イメージ

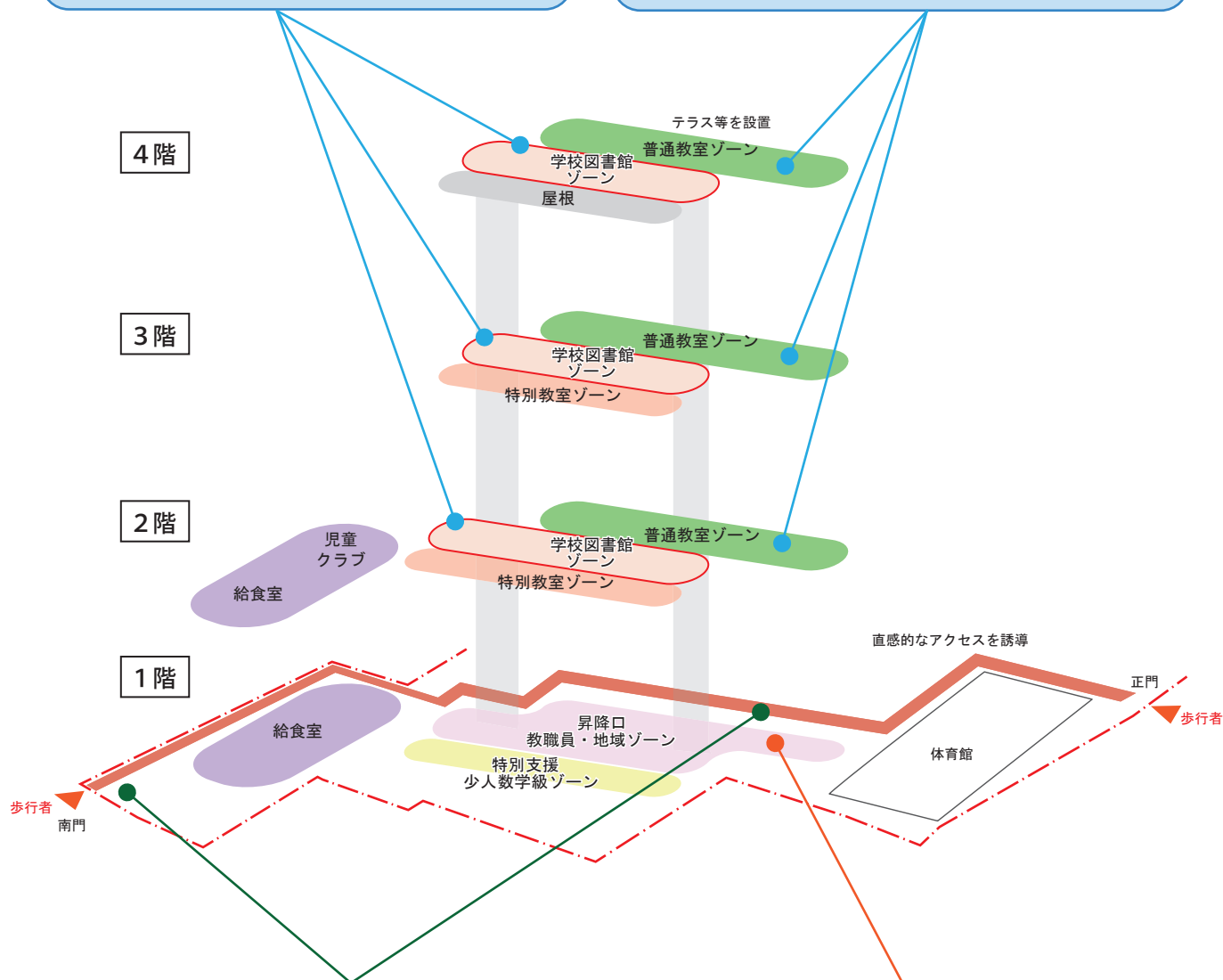
## 2 設計方針（施設整備に係る方向性） 主な内容を記載

### 【同学年・異学年交流を促進する空間づくり】

- 学びの中心となる学校図書館ゾーンを複数階に配置し、そのまわりに各教室を配置することで、読書活動等を通じた同学年・異学年交流を促進する。
- 学校図書館ゾーンを中心とした室配置により、学校全体が学びの場となる計画とする。

### 【居心地のよい快適な空間づくり】

- オープンでゆとりのある空間構成や、安全に配慮したテラスの設置など、児童にとって多様な居場所となるスペースを確保することで、快適に過ごしやすい平面計画とする。
- 内装についてはコストに配慮した上で木質化を行うなど、温かみのある素材や色彩を用いた計画とする。



### 【言語的コミュニケーションに頼らない学校施設の整備】

- 正門・南門から昇降口まで舗装等により動線を明示し、誰もが直感的にアクセス可能な計画とする。
- 視覚的にわかりやすいロゴや色彩によるサイン（案内表示）計画とする。

### 【学校と地域が支え合い協働していくための空間づくり】

- 児童の安全を確保した上で、地域住民等が気軽に立ち寄ることができる地域交流スペースを計画する。
- 浸水害に備えた床高の設定や、止水板の設置、設備機器の上階設置など防災性の高い施設計画とする。さらに、地震等の災害に備え、天井落下防止対策等を検討する。

道路

展望デ

## 遊目工山

 $+0$ 

グラウンド  
4750m<sup>2</sup>

整形で見通しの良い

排気ダクトを建物上に配置し近隣への臭気に配慮

高校  
二スコート

児童クラブ  
給食室

駐車場

休育館

正問

道路

海田町民  
センター

近隣住宅側の開口部を少なくし、窓を設ける場合は曇りガラスとする

近隣住宅と一定程度距離を  
空けて日当たりを配慮

近隣住宅との視線に配慮し  
防音・目隠しフェンスや植  
栽等を設置

配送車両が敷地内で転回  
できるスペースを確保し、  
配送時の安全面にも配慮

## 複数階に学校図書館ゾーンを計画

並通教宗、バーン、

● 学校図書館ゾーン

## 特別教室ゾーン

旧音

給食室

2 陸

地域住民と交流が行える  
地域ゾーンを設置

## グラウンドが見渡せる 教職員ゾーン

見渡し  
昇降口

特別支援  
数学級ゾーン

給食室

1 階

普通教室、バーン

学校図書館ゾーン

屋根

4 陆北

普通教室、バー、

学校図書館バーン

特別教室ゾーン

・普通教室、学校図書館ゾーン  
を隣接し同学年・異学年の交  
流を促進

## 4 構造計画

本計画は、校舎及び給食室の建替えであることから、用途に応じた構造計画を策定する。新校舎は耐久性や居住性を重視し、給食室・児童クラブはプランの容易性を重視する。

### ①新校舎

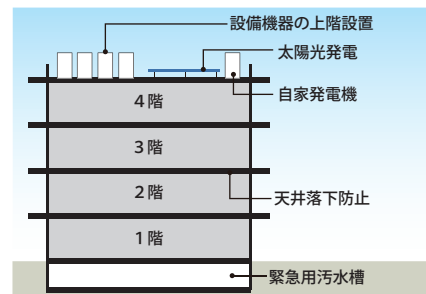
耐久性に優れ、振動が少なく遮音性も高い鉄筋コンクリート造を想定する。

### ②給食室・児童クラブ

大空間や細かな動線を確保するため、ロングスパンが可能な鉄骨造を想定する。

## 5 防災計画

ハザードマップによる各種想定浸水深が 0.5m ～ 5.0m であることを踏まえ、1 階床高を 0.5m 程度嵩上げすることで、浸水対策を行う。また、出入口に止水板を設置できる計画とし、より高い浸水に対応する。設備機器の被害を最小限とするため、屋上等の浸水被害のない上階に設置を検討する。省エネや停電対策のため、太陽光発電や自家発電機の設置を検討する。さらに、地震等の災害に備え、天井落下防止対策や緊急用汚水槽の設置を検討する。



## 6 概算事業費

(単位：千円)

| 整備内容         |       | 概算事業費 ※1  |
|--------------|-------|-----------|
| ①本体工事費       |       | 3,905,000 |
| 新築           | 新校舎   | 2,826,000 |
|              | 給食室   | 754,000   |
|              | 解体 ※2 | 325,000   |
| ②附帯・関連整備費 ※3 |       | 832,000   |
| 合計           |       | 4,737,000 |

※1 消費税率は 10%を見込んでいる。工事発注は令和 9 年 2 月を想定しており、物価上昇等により概算事業費の増額が見込まれる。

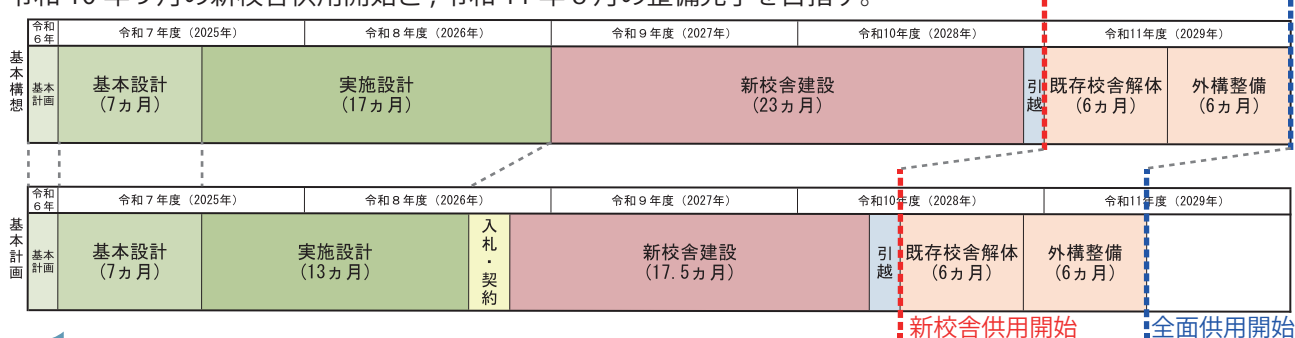
※2 アスベスト対策工事費は、今後の調査によって必要性が生じた場合、これに要する費用が加算される。

※3 附帯・関連整備費（渡り廊下、屋外トイレ・屋外倉庫、外構、備品・什器、厨房機器等）の詳細検討は基本・実施設計で行う。

構造計画の合理化，工期短縮を伴う経費削減，施工諸室ごとに最適な設備機器を比較検討により選定するなど、基本設計においてはイニシャルコストの縮減を図るため、具体的な検討を行う。

## 7 事業スケジュール

基本構想では令和 11 年 4 月からの新校舎供用開始を想定したスケジュールであったが、各工程の主要な目標を明確にして設計期間を短縮し、仮設校舎を建設しない計画とした。さらに、工事期間を短縮することで、令和 10 年 9 月の新校舎供用開始と、令和 11 年 8 月の整備完了を目指す。



## 8 基本設計に向けて

基本設計では、本計画で示した設計方針に基づいて、ワークショップ等により学校関係者や町民等のご意見を伺いながら、より具体的な検討を進めていく。

具体的な検討に当たっては、必要に応じて諸条件の見直しを行い、建築計画に反映することにより、海田東小学校の児童にとって、「明日また行きたい学校」と思える、また、「地域と共に育つ学校」として将来にわたって地域の誇りを育む「地域の宝」となるような学び舎づくりを目指していく。

### お問い合わせ

#### 海田町教育委員会

〒736-8601

広島県安芸郡海田町南昭和町 14-17

TEL (082)-823-9216 (学校教育課)

Email : gakkyo@town.kaita.lg.jp

令和 7 年 4 月以降

TEL (082)-822-2135 (文教施設整備室)

Email : bunkyo@town.kaita.lg.jp